

日本学術会議緊急集会「今、われわれにできることは何か？」開催のお知らせ

日本学術会議会長 金澤一郎

日頃から日本学術会議の活動にご賛同、ご協力賜わり感謝申し上げます。

このたびの史上最悪となりました東北関東大震災に直面し、科学者の立場から国民に対し何がしかのメッセージを発するべきではないかとお考えの方もおいでのことと思います。

わが国の学術は厳しい自然環境との戦いの中で発達してきたといえます。今回の災害は、人類の幸せを追及することを目的として精進してきたわれわれ科学者に自然の力の強さを見せつけ、科学・技術の力の限界をあらためて認識させる結果となりました。

また、自然災害の二次災害である原子力発電所からの放射性物質の漏出については、我々科学者に大きな課題を残すこととなりました。

災害の復旧、原発の修復に献身的に努めておられる関係者の方々に心から敬意を表するとともに、我々は学術の立場から今後どのような貢献ができるのか、我が国のこれからの見据えた復旧へのメッセージを国民に伝えることが求められています。

このような状況に鑑み、大変急なことではありますが、科学界、産業界、メディア関係者などの方々との意見交換を行う機会を持ちたいと考えております。交通網が完全に復帰していない状況ではありますが、以下のとおり会合の場を設定いたしました。万障お繰り合わせのうえ、ぜひご参集下さいますようお願い申し上げます。

日 時： 2011年3月18日（金曜日）午後3時から5時まで

場 所： 日本学術会議講堂（港区六本木7-22-34）

※ 御参加の方は、以下の連絡先まで御連絡ください。

日本学術会議事務局 審議第二担当

Email: s253@scj.go.jp Tel: [03-3403-1056](tel:03-3403-1056)